

伝承鳩

文字でつなぐ人の心

鳩山中学校での「平和祈念講話」で戦争体験談を聴いて

◆戦中は、食べ物がなく、充分に取れないなどの様々な苦難があったことを知ることができました。また、「お国のために自分は死ぬ」などの考えが当時あったと思うと、本当に信じられなかったし、自分なら、たとえ強制でも、そんな風にはなれなかったと思います。今生きている1分1秒が貴重で、たくさんの幸せがあり、本当に充実している世の中といえるのだと思いました。(早坂 拓真)

◆当時は様々な制限がされていて、「となりぐみ」という制度や、「敵兵を殺せなくても自分が受けた散弾一発でも消耗できたならいい」といった、国のためという考え方など、私にはとても真似できない程の苦労がたくさんあったことが分かりました。毎日ご飯が食べられ、学校に行かせてもらえる、さらには習い事までさせてもらえるということが、どれだけ幸せなことかも分かりました。(村田 日和)

◆戦争が終わった夜に明るい電灯の下でご飯を食べ、喜びを感じたという話には感情が高ぶりしました。今日の話を聞いて、毎日の私の物に対するだらしなさやありがたみのなさをうしろめたく感じました。今後は、日々の生活に感謝の気持ちをもちながら生活していきたいです。(齋藤 生野)

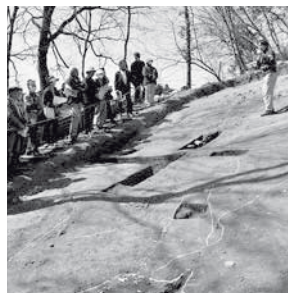
◆戦争体験者が少なくなっている今、このような体験談を聞けることはとても貴重だと思うので、これからの生活でも忘れないように、しっかりと胸にとめておきたいです。自分たちは、戦争などにあまり関係のない世代だけど、お話を聞き、考えるだけでも、これからの未来に少しは貢献できるかなと思います。(伊藤 虹海)

◆このコーナーではご家族・ご友人などに向けた「作文」「手紙」「作品」などをご紹介します。

◆今月は、6月7日に鳩山中学校で行われた「平和祈念講話」(詳細は17ページを参照)を受け、生徒たちが書いた感想文を一部抜粋・加筆修正して掲載します。

No.18

広報写真で振り返る町の歴史 ②7



平成25年3月18日・19日
「石田遺跡発掘調査現地見学会」

鳩山窯跡群の一つである町農村公園内にある石田遺跡の、平成24年度に行った発掘調査の成果が紹介された様子が伝えられています。【平成25年5月(No.493)号より】

編・集・室

今月号の公共交通に関する特集記事内でもお伝えしましたが、高坂駅～鳩山ニュータウン線と坂戸駅～大橋線は、現在の料金体系では、目安として、合計で年間約105万人の利用人数で採算が取れるそうです。単純計算で、1日当たり2,876人の利用が必要ですが、平成26年度の同2路線の利用者数は1日当たり2,967人で、採算性ラインを約100人上回っているのみです。現在の状況を維持するために、今後も皆さんが、積極的に公共交通を利用することが必要です。(黒田)

人口と世帯

6月1日現在、()は対前月比
人口 14,272人 (-20)
男 7,032人 (-12)
女 7,240人 (-8)
世帯 5,957世帯 (+6)
5月の出生数 7人

7月の納税・納付

固定資産税 (第2期)
国民健康保険税 (第1期)
後期高齢者医療保険料 (第1期)
介護保険料 (第1期)

●納期限を過ぎないように、コンビニ納付や口座振替をご利用ください。

夜間納税相談をご利用ください

日中来庁できない方のために、納税相談を行っていますので、ぜひご利用ください。また、納付も受け付けます。

【今後の日程】

日時：7月28日(木)、8月30日(火)

午後5時15分～7時30分

場所・問合せ：役場税務課 ☎ 296-5892